

「パーキンソン病と脳・神経の病気について知るセミナー」が東京で開催されました



2019年2月10日、東京都千代田区で神経内科フォーラムとアッヴィ合同会社の共催、日本神経学会の講演により、「パーキンソン病と脳・神経の病気について知るセミナー in 東京」が開催されました。同セミナーでは、パーキンソン病の治療や研究にあたられている、戸田達史先生（東京大学神経内科教授）、下泰司先生（順天堂大学神経内科先任准教授）、織茂智之先生（関東中央病院神経内科統括部長）の講演に続き、順天堂大学脳神経内科教授の服部信孝先生とシンガーソングライターの樋口了一さんによる「病気になってもあきらめない、意欲を失わない生き方」と題したトークショーが行われ、最後は樋口さんのミニコンサートで締めくくられました。

先生方の講演では、脳神経内科が専門に診ている病気、パーキンソン病の診断、お薬の特徴や最新の治療などについて、分かりやすい解説がありました。

また、2019年6月に京都で開かれる、第5回世界パーキンソン病学会(WPC)への参加呼びかけも行われました。WPCは、医師ばかりでなく患者さんも参加できる催しとして、世界各地で3年ごとに開かれています。

脳神経内科とは

東京大学神経内科 戸田 達史教授
(日本神経学会代表理事)



パーキンソン病の診断方法について

順天堂大学脳神経内科 下 泰司先任准教授



パーキンソン病の薬物治療と最新治療について

関東中央病院神経内科 織茂 智之統括部長



トークショー

「病気になってもあきらめない、意欲を失わない生き方」

順天堂大学脳神経内科 服部 信孝教授 × シンガーソングライター 樋口 了一さん

